

2023 年度 第 1 回 6 月北大本番レベル模試地理 採点基準

**1 単答記述問題**

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

記号問題で 「イ)」が正答の場合「イ」も正答とする。

**2 論述問題**

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

**3 共通減点基準**

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。

② 下線の付け忘れは 1 点減点。

③ 指定用語不使用は 1 つにつき 1 点減点。

④ 字数オーバーは 1 点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスターンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

**4 採点記号について**

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

**5 設問別加点基準**

- 1) \_\_\_\_\_ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

**1**

問 3 5 点

8 月の両流域には大差なく、いずれも流量は少ない。5 月の釧路川は 8 月よりやや多い流量で日変化は小さいが、尻別川は 8 月に比べ流量が著しく多く、流量の日変化が大きい。これは積雪の多い尻別川流域の融雪による。気温の高い日中の融雪水が夜間に観測点に到達している。

**【加点ポイント】**

①<1 点> **【8 月の流量について】**

- どちらの地域も流量が少ない
- 尻別川も釧路川も 5 月より流量が少ない

②<2 点 (1 点×2)> **【5 月の流量について】**

- 尻別川の流量が釧路川より著しく多い →1 点
- 尻別川の流量の日変化が大きい →1 点

③<2 点 (1 点×2)> **【②の理由】**

- 尻別川に流れ込む融雪量が多い／尻別川流域は積雪量 (降雪量) が多い →1 点
- 気温の高い日中の融雪水が夜間に観測点に到達  
／日中は夜間より多く雪が溶ける →1 点

問 5 8 点

宅地開発以前は、植生・土壌に覆われて雨水の浸透量が多く、直接流出する河川水が少ない上に、谷が多く流量が分散するので降雨中の河川流量は少なく、降雨終了後長期にわたって浸透水が湧出した。宅地開発後は、植生・土壌が改変され人工的な排水網の整備により直接流出する河川水が増加する上に、多くの谷が埋められて雨水が排水路に集中するので降雨中の河川流量が多くなり、浸透水が減るので降雨終了後の長期的な流量が少なくなる。

**【加点ポイント】**

①<1 点> **【地形の変化】**

- 谷が埋められる／小さな河川が埋められる／谷密度が低くなる

(次ページに続く)

②<2 点> 【①の影響】

- 雨水が排水路に集中する／雨水が河川に直接流出する  
／降雨直後の河川流量が多くなる

③<1 点> 【植生・土壌の変化】

- 樹木が伐採される／植生が無くなる／舗装面が多くなる／緑地が減少する  
／地面の露出が少なくなる／建物で地面が覆われる

④<2 点> 【③の影響】

- 雨水が土壌に浸透しない／土壌の保水力が失われる

⑤<2 点> 【④による水循環の変化】

- 降雨終了後の河川の長期的な流量が少なくなる  
／降雨中や降雨直後の河川流量は増えるがその後急に流量が減る  
／河川の流量の多いときと少ないときの差が大きくなる  
／降雨後に地中を通してゆっくり湧出する水が少なくなる

問 8 8 点

太平洋ベルトの過密地に被害をもたらすので、建物倒壊による死者数が多い東南海地震に比して、過疎地が多い千島海溝地震では建物倒壊による死者数は少ないが津波による死者数が多い。特に、冬季・夜間の場合の死者数が非常に多くなる。これは、寒冷地なので、避難路の積雪・凍結による避難の遅延や濡れた体を保温できない場合の低体温症による死者増を示している。よって、避難訓練のみならず、避難場所までの経路への屋根の設置や避難所での保温体制の強化など寒冷地特有の対策が必要である。

【加点ポイント】

①<1 点> 【東南海地震の被害の特徴】

- 建物倒壊による死者数が多い

②<1 点> 【千島海溝地震の被害の特徴 1】

- 建物倒壊による死者数が少ない

③<1 点> 【①②の理由】

- ①の地域は人口が多い（人口過密／人口密度が高い）
  - ②の地域は人口が少ない（過疎地が多い／人口密度が低い）
- } いずれかで 1 点

④<2 点> 【千島海溝地震の被害の特徴 2】

- 冬季（夜間）の津波による死者の数が多い  
△「津波による死者の数が多い」のみ →1 点

⑤<2 点（1 点×2）> 【④の理由】

- 積雪（凍結）による避難の遅れ →1 点
- 低体温症による死者増／寒冷地なので体が濡れると命に関わる →1 点

⑥<1 点> 【防災対策】

- 避難路への屋根の設置／避難路の耐震性のアーケード化
- 避難所での保温体制の強化／避難所で十分に暖を取れるように準備する

2

問 1(2) 1 点×2

- 火力発電用の燃料／火力発電／発電 →1 点  
○製鉄用の原料／鉄鋼業の原料／製鉄用コークス／製鉄 →1 点 } 順不同

問 1(3) 4 点

東日本大震災による原子力発電所の事故の影響で国内の原子力発電所の運転が停止し D の原子力の割合が低下し，その不足を補うために火力発電用に輸入した C の天然ガスの割合が上昇した。

【加点ポイント】

①<1 点> 【D について】

○原子力

②<1 点> 【D の割合低下の背景】

(※①「D:原子力」が誤っていれば加点しない)

- ・東日本大震災／東北地方太平洋沖地震／震災／地震 }  
・原子力発電所の事故／原発事故／原子力発電所の停止 } ○両方あって 1 点

③<1 点> 【C について】

○天然ガス

④<1 点> 【C の割合上昇の背景】

(※③「C:天然ガス」が誤っていれば加点しない)

○火力発電用需要の増加

問 1(4)説明 3 点

植物などの由来の燃料であるバイオエタノールは，その原材料である植物などの生育時に大気中の二酸化炭素を吸収する。そのため，バイオエタノールを燃焼しても大気中の二酸化炭素の増減に影響を与えない。

【加点ポイント】

<1 点> 【カーボンニュートラルの意義】

- （燃焼しても）大気中の二酸化炭素の増減に影響を与えない  
／燃焼時の二酸化炭素排出量が相殺される

<2 点> 【①の理由】

- （原材料となる）植物などの生育時に大気中の二酸化炭素を吸収する  
／植物の光合成により大気中の二酸化炭素を吸収している  
○排出時の二酸化炭素は植物生育時に吸収した二酸化炭素と同量

問2③理由 1点

新期造山帯に位置し、火山活動がみられるため。

【加点ポイント】

★「問2③国名：イタリア」の正解を加点の前提とする

<1点>【理由】

○「火山」の存在を指摘していれば可

問2④理由 1点

大西洋に面し、海洋からの風が卓越するため。

【加点ポイント】

★「問2④国名：ポルトガル」の正解を加点の前提とする

<1点>【理由】

○「海からの風／偏西風」を指摘していれば可

問2⑤理由 1点

偏西風に対して山脈の風上側に位置し、多雨で山地も多いため。

【加点ポイント】

★「問2⑤国名：ノルウェー」の正解を加点の前提とする

<1点>【理由】

- ・ 偏西風
  - ・ 山脈／スカンディナヴィア山脈／山
  - ・ 多雨／降水量が多い／川の流量が多い
- } 3つ揃って○1点

問3(3) 3点

レアメタルは、埋蔵量が少ないか、純粋な金属としての抽出が困難な金属であり、政治的に不安定な地域に偏在している。現代の先端技術産業などに不可欠で、需要が高まっている。

【加点ポイント】

①<1点>【金属の総称】

○レアメタル／希少金属

②<1点>【資源分布】

○偏在する／政治的に不安定な地域に偏っている／特定の地域に偏っている  
×遍在する

③<1点>【経済的価値】

○先端技術産業などに不可欠／工業に不可欠／半導体や特殊合金の材料  
／携帯電話やコンピューターなどの製造に必要  
×「経済的価値が高い」のみで具体例がない

問3(4) 4点

産出国との関係強化や鉱山への投資、輸入先の分散や国内での備蓄、廃棄された工業製品からのリサイクル等が行われている。

【加点ポイント】

①<2点(1点×2)> 【輸入における対策】

- |   |   |              |
|---|---|--------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>○産出国との関係強化／鉱山への投資（鉱山開発）</li><li>○輸入先の分散</li><li>○国内での備蓄</li><li>○代替技術の研究／使用量削減技術の開発</li></ul> | } | 1つ1点<br>2点まで |
|---|---|--------------|

②<2点> 【国内資源】

- 工業製品のリサイクル利用／廃棄物からの金属回収  
(※すでに製品に含まれているレアメタルを回収・再利用する意が含まれていれば可)

問3(5) 4点

Bのインドは、付近の炭田や鉄山から供給された原料を用いる原料立地型、Dの日本は、海外からの輸入原料を用いる市場立地型の鉄鋼業が立地している。

【加点ポイント】

①<1点> 【Bについて】

- インド

②<1点> 【Bの立地】

(※①「B:インド」が誤っていれば加点しない)

- 原料立地型／原料指向型／炭田や鉄山の近くに立地する

③<1点> 【Dについて】

- 日本

④<1点> 【Dの立地】

(※③「D:日本」が誤っていれば加点しない)

- 市場立地型／市場指向型／大市場の近くに立地する
- 港湾立地型／臨海指向型／原料の輸入に便利な港湾近くに立地する

問3(6) 4点

アルミニウムの精錬には大量の電力が必要である。オイルショックによる電力費の高騰により生産コストが上昇し、生産量が急減した。

【加点ポイント】

①<1点> 【金属名】

- アルミニウム

②<1点> 【精錬工程の特徴】

- 大量の電力が必要／電気により精錬する

(次ページに続く)

③<2 点 (1 点×2)> 【生産量減少の背景】

- オイルショック／石油危機 →1 点
- 電力高騰／電気代の値上がり／安価な電力が得られなくなった →1 点

3

問 2 5 点

ブミプトラ政策とは、ブミプトラと呼ばれるマレー系等の先住民を、就学、雇用等で優遇する政策である。中国系やインド系に比べブミプトラの所得水準が低いため、経済格差を是正するために導入された。

【加点ポイント】

①<2 点> 【政策の内容】

- マレー系 (マレー人／先住民) を優遇する

②<1 点> 【マレーシアの他の民族】

- 中国系／インド系

③<2 点> 【政策導入の背景・目的】

- ②に比べマレー系の所得水準が低い
- ②とマレー系の経済格差を是正するため
- マレー系の経済力を高めるため

問 3 5 点

国際線が集中するハブ空港を持ち、世界中からビジネスマンが集まりやすい。また、英語が通じやすいため国際的な商取引を行う企業にふさわしい人材を確保でき、移住した進出企業の従業員も生活しやすい。

【加点ポイント】

①<2 点> 【交通面の条件】

- ハブ空港を持つ
- △「国際空港を持つ」のみ →1 点

②<2 点> 【言語面の条件】

- 英語が通じやすい／英語が公用語の 1 つである／英語が堪能な人が多い

③<1 点> 【①②による利点】

- 世界中からビジネスマンが集まりやすい
- 国際的な商取引にふさわしい人材を確保しやすい
- 移住した従業員が生活しやすい

問 7 5 点 [指定語句] 結成当初 AEC 域内関税 通貨統合 4 つ全て 下線不要

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。  
 ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。

結成当初はインドシナ半島の共産主義勢力への対抗を目的としたが、現在は経済的協力が主であり、AECを結成して域内関税を撤廃した。ただし、通貨統合は行わないなど、EU よりも緩い結束を志向している。

【加点ポイント】

①<1 点> 【当初の方向性】

- 結成当初はインドシナ半島の共産主義勢力への対抗であった  
 /結成当初は軍事同盟（政治同盟）の色合いが強かった

②<1 点> 【現在の方向性】

- （近年は）経済的協力を主とする / 貿易上の協力が主である

③<1 点> 【②の具体的内容】

- AECを結成して域内関税を撤廃した / AECなどで域内関税を引き下げた

④<2 点 (1 点×2)> 【EU との違い】

- 通貨統合は行わない / 通貨統合を目指さない
  - EU よりも緩い結束を志向している / 超国家的統合は目指さない  
 / 共通外交や安全保障などの設定はない
  - 加盟国間の人の移動には制限がある
  - 域外貿易の関税は各国が決める
- }
 

1 つ 1 点

2 点まで

4

問 5 6 点 [指定語句] 酸性土壌 輸出用作物 バイオ燃料 3 つ全て 下線不要

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。  
 ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。

セラードはブラジル高原中央の広大なサバナ地帯で、草木と低木が散在する荒地だったが、外国からの資金と技術援助をもとに、輸出用作物を栽培する開発が計画・実施された。酸性土壌の改良と農業機械や肥料の導入によって大豆の大規模栽培が成功し、サトウキビやコーヒー豆栽培などに拡大した。近年バイオ燃料への需要が高まると一層サトウキビなどの栽培が拡大したが、農薬や肥料を必要とするため、企業的な経営が中心で、農民間の経済格差が拡大し、また土壌侵食などの環境問題も深刻になってきた。

【加点ポイント】

①<1 点> 【セラードの植生と特徴】

- ・サバナ / 疎林の混じる熱帯草原 / 草木と低木が散在 / 低木の疎林地帯
  - ・荒地 / 不毛の地 / 農業に向かない / 耕地にしにくい
- }
 

○2 つ揃って

1 点

(次ページに続く)



③<4 点 (1 点×4)> 【農業開発の特徴】

- 輸出用作物を栽培する
- 外国から資金援助 (技術援助) を受けた / 外資による開発であった / 日本の ODA による援助を受けた / 穀物メジャーが関わっている
- 酸性土壌の改良が行われた / 農薬や肥料が多用される
- 大豆の大規模栽培が行われている
- バイオ燃料用のサトウキビも栽培される

1つ1点  
4点まで

④<1 点> 【農業開発の課題】

- 農民間の経済格差が拡大した
- 環境問題が起きている / 森林破壊 / 土壌侵食 / 生態系の破壊

問 9 6 点 [指定語句] 偏西風 寒流 アンデス山脈 3つ全て 下線不要

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。  
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。

パタゴニアは、南アメリカ南端部で、アンデス山脈を挟み、チリとアルゼンチンにまたがる地方である。太平洋側は、偏西風の影響を受けた西岸海洋性気候だが、沖合を寒流が流れているために蒸発量は少なく、湿潤だが降水量は同気候の中ではさほど多くはない。大西洋側は、偏西風がアンデス山脈を越え、乾燥した強風となって年中吹きおろすために乾燥し、砂漠になっている地域もある。

【加点ポイント】

①<1 点> 【太平洋側 (アンデス山脈の西側) の気候】

- 西岸海洋性気候 / 湿潤 / 年間を通じて降水がある

②<1 点> 【①の特徴】

- 沖合の寒流のため降水量はあまり多くない  
/ 沖合の寒流のため降水量は少なめである

③<1 点> 【大西洋側 (アンデス山脈の東側) の気候】

- 乾燥 / 降水量が少ない / 砂漠が広がる

④<1 点> 【①③の要因】

- 偏西風がアンデス山脈にぶつかる

⑤<2 点 (1 点×2)> 【④の結果】

- 太平洋側に降水をもたらす / 山脈風上で雨を落とす →1 点
- 大西洋側に乾燥風が吹く / 山脈風下は乾燥する →1 点